

みずほCustomer Desk Report 2023/10/03 号(As of 2023/10/02)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	149.75
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.52	1.0564	157.94	1.2193	0.6438
SYD-NY High	149.88	1.0592	158.41	1.2220	0.6445
SYD-NY Low	149.45	1.0477	157.01	1.2086	0.6363
NY 5:00 PM	149.87	1.0477	157.05	1.2088	0.6363
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,433.35	▲ 74.15	日本2年債	0.0500%	0.0000%
NASDAQ	13,307.77	88.45	日本10年債	0.7700%	0.0100%
S&P	4,288.39	0.34	米国2年債	5.1073%	0.0564%
日経平均	31,759.88	▲ 97.74	米国5年債	4.7128%	0.0984%
TOPIX	2,314.44	▲ 8.95	米国10年債	4.6837%	0.1054%
シカゴ日経先物	31,640.00	▲ 210.00	独10年債	2.9120%	0.0750%
ロンドンFT	7,510.72	▲ 97.36	英10年債	4.5645%	0.1225%
DAX	15,247.21	▲ 139.37	豪10年債	-	-
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	9.00%	0.31%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.48%	0.13%
NY金	1,847.20	▲ 18.90	USDJPY 6M Vol	9.55%	0.10%
WTI	88.82	▲ 1.97	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.09%	Yen Call Over
CRB指数	282.48	▲ 2.05	EURJPY 3M Vol	9.59%	0.18%
ドルインデックス	106.90	0.68	EURJPY 6M Vol	9.90%	0.18%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月2日	16:55	独 製造業PMI・確報	9月 39.6	39.8
	17:00	欧 製造業PMI・確報	9月 43.4	43.4
	17:30	英 製造業PMI・確報	9月 44.3	44.2
	18:00	欧 失業率	8月 6.4%	6.4%
	22:45	米 製造業PMI・確報	9月 49.8	48.9
	23:00	米 建設支出(前月比)	8月 0.5%	0.5%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	9月 49.0	47.9

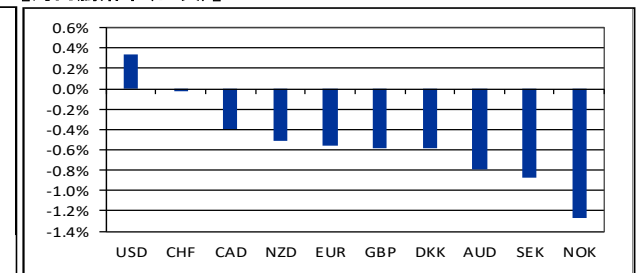
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月3日	12:30	豪 RBAキャシュレート	- 4.1%	4.1%
	23:00	米 JOLT求人	8月 150k	177k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.30-150.50	1.0370-1.0570	156.00-157.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は高値圏で推移する展開となった。149円台半ばで週初取引を開始すると、米政府機関の閉鎖回避を背景に、日本時間正午過ぎには149.80台まで上伸。一旦調整を挟んだが、海外時間に入ると、米長期金利が2007年以來の高水準まで上昇したことから、ドル円上昇の圧力となり、一時149.88まで上昇した。

本日のドル円はじり高推移を予想。日米の金利差拡大を意識したドル買いが優勢となることがメインシナリオで、大台前に売り買い交錯しながらも150円台に乗せる展開も十分視野に入る。ただ、150円台に乗せた後は介入の警戒感が更に強まり、一段の上値追いは難しいだろう。また、本日はオーストラリア準備銀行が政策金利を発表する。今回も金利据え置き予想が大半でAUD/JPY上昇を起点としたドル円の動きは限定的となろう。

東京	東京時間のドル円は149.52レベルでオープン。仲値にかけてドル買いが優勢となり水準を上げる中、週末に米政府機関の封鎖が回避されたことが追い風となってか、リスクの動きも強く、直近高値を抜けると一時149.83まで上昇。その後は節目の150円を前にした為替介入への警戒感の強まりから押し返されるも、総じて底堅い推移が継続し、149.69レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.69レベルでオープン。午後に経済指標の発表を控える中、米10年債利回りの上昇を背景に149.78円まで底堅く推移し、結局149.74レベルでNYに渡った。一方、欧州株は上昇で開けたものの下落に転じ寄り天となった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台半ばでスタート。週末の米政府機関の閉鎖回避報道や、日経平均株価の堅調な展開を背景に、ドル円は149.83まで上昇。しかし、その後は心理的節目の150円手前で上値重くなり、149.74レベルでNYオープン。午前中に発表された米9月ISM製造業景況指数は予想を上回るも、支払い価格の部分では予想を大きく下回り、強弱まちまちな結果を受け、発表直後は149.68と149.88の間を上下する。その後、米10年債利回りが2007年以來の高水準で推移する展開がサポートとなり、149.80近辺を軸とした値動きが続く。午後高値圏の149.80台でもみ合いが続き、149.87でクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05台後半でスタート。1.0592まで上昇するも、その後欧州株やデイトレスECB副総裁が「インフレは今後数か月鈍化し続ける」との発言を受け、一転売りが優勢となり、1.0532レベルでNYオープン。朝方は先述の米金利が高水準で推移する動きが一段重しとなり、1.05台を割り込み、1.0492まで続落。午後は手がかり材料を欠く中、1.0477まで下げ幅を拡大し、同レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田川・南野